

■ 2023年度 豊岡市地方創生事業実施効果検証報告（「第2期豊岡市地方創生総合戦略第5版」）

資料4

戦略目的	暮らすなら豊岡と考え、定住する若者が増えている		
KPI（重要業績評価指標）	人口の社会減の緩和（転入－転出）	基準値 (2019)	△442人（転入1,893人－転出2,335人）
		目標値 (2024)	△388人
		2023実績	△355人（転入1,963人－転出2,318人）

主要手段 01	豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている		
KPI（重要業績評価指標）	2024.3月末		
	目標値	実績値	
豊岡市公式ウェブサイト閲覧数	1,210,000件	1,631,590件	

具体的手段 01-01	豊岡の良さが内外に伝わっている		
KPI（重要業績評価指標）	2024.3月末		
	目標値	実績値	
豊岡市移住定住ポータルサイト閲覧数	136,000件	131,159件	

No.	事業名	事業内容	KPI（重要業績評価指標）		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2024.3月末			
				目標値			実績値
1	情報戦略推進（豊岡ファンミーティング、庁内情報発信強化業務、広告宣伝）	<p>周囲の人にも本市の良さを伝えてくれる“豊岡ファン”との関係を構築・強化し、旅の目的地・滞在先としての認知向上につなげる。</p> <p>庁内の横断的な連携を行い、市全体としての情報発信を強化し、本市の取組みに共感し、参画していただく企業・個人を増やす。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 参加者数 メディア掲載数 	<p>45人</p> <p>85件</p>	<p>72人</p> <p>54件</p>	<p>【成果】 豊岡ファンミーティングは本市の取組みを紹介、議論する有意義なイベントとなり、本市の魅力の再発見につながった。メディア掲載は、雑誌、テレビ、ラジオなど幅広い掲載等が得られた。</p> <p>【課題】 豊岡ファンミーティングは、意見交換の時間、参加しやすい日程など、来てもらいたいターゲットを意識して案内する必要がある。メディア掲載は媒体にあった情報をタイミングよく提供する必要がある。</p> <p>【今後の対応】 豊岡ファンミーティングは、2022年度はこれまでの取組みを紹介し、2023年度は市の取組みについて議論することができたことから、一定の成果が得られたものと考えている。メディア掲載を含め、本市の取組みを幅広く発信し、市の認知度向上を図る必要がある。</p>	秘書広報課

No.	事業名	事業内容	KPI（重要業績評価指標）		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2024.3月末			
				目標値			実績値
2	UIターン推進（飛んでるローカル豊岡運營業務）	移住ポータルサイト「飛んでるローカル豊岡」で市民ライターが豊岡のリアルな暮らし（地域事情・住まい・仕事等）を記事やSNSで発信し、移住への興味関心を引くとともに、豊岡への移住意識を高める。	・SNS(Facebook・Twitter)のフォロワー数 ・SNSの情報発信回数	5,800件 245回	5,733件 104回	【成果】 コロナ禍をきっかけに、都市部在住者で地方への興味を持つ方が増加した。それに伴い、飛んでるローカル豊岡のサイト閲覧数及びSNSのフォロワー数も増加した。民間の移住情報サイトでも発信を続けており、人気地域に選ばれるなど発信の効果が見られた。 【課題】 地方移住への関心を引き続き持ってもらうために発信を工夫する必要がある。 【今後の対応】 市民ライターや地域のまちづくりに携わる方と連携し、多様なプロジェクトを発信する。また、イベント等交流の場も増やしていく。	地域づくり課
3	企業版ふるさと納税の獲得推進	本市の地方創生をさらに推進するための財源を確保するとともに、本市の取組みに共感する企業を増やすため、企業版ふるさと納税の獲得に向けた取組みを強化する。	・企業版ふるさと納税寄附金額	40,000千円	7,600千円	【成果】 企業版ふるさと納税のPR冊子を作成やマッチング支援業者の公募し、寄附獲得のための取組みを増やしたが、目標額には届かなかった。 【課題】 企業へのPR方法の工夫と寄附獲得しやすい分野の拡大が必要。 【今後の対応】 マッチング支援業者の募集と企業から寄附してもらいやすい新規分野の検討と仕組みづくりを検討する。	経営企画課・観光政策課

具体的手段 01-02	豊岡を巣立った人たちが豊岡とつながっている		
KPI（重要業績評価指標）		2024.3月末	
		目標値	実績値
新規就職者数（ジョブナビ豊岡登録企業）		170人	176人
自分自身関わって豊岡を良くしていこうと思う高校生の割合		60%	51%

No.	事業名	事業内容	指標設定	2024.3月末		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署
				目標値	実績値		
4	Uターン推進（ジョブナビ豊岡・ジョブナビ豊岡運営、就活応援ブック作成等）	<p>合同企業説明会等の開催や豊岡で働く魅力や暮らしの情報発信など、オンラインを含め、機会を捉えてUターン希望者にマッチした情報を届ける。また、高校卒業後も途切れることなく豊岡に興味を持ち続けてもらえるような情報発信を行いUターンを促進する。</p> <p>就活イベント（市内企業30社の参加を想定）を実施するとともに、若者の多様な働き方や、市内在住者のおすすめスポットなどを紹介した「就活応援ブック」により豊岡の魅力を紹介する。</p>	・ジョブナビ豊岡登録企業が出会った求職者数	9人/社	12人/社	<p>【成果】 合同企業説明会や面接会を合計3回開催し、Uターン就職希望者と企業の出会いの場となっている。</p> <p>【課題】 合同企業説明会等の参加者が年々減少しているため、情報発信の方法などを工夫する必要がある。</p> <p>【今後の対応】 はたちを祝う会の参加者への情報発信など、若者を中心にSNS等で積極的に情報発信を行い、Uターンを促進していく。</p>	地域づくり課

No.	事業名	事業内容	指標設定	KPI（重要業績評価指標）		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署
				2024.3月末			
				目標値	実績値		
5	Uターン推進（高校生の総合学習等支援）	学校内での地域探究や仕事、企業の探究活動、学校外での高校生キャリア塾等の活動を支援する。	・ふるさとへ愛着を持っている高校生の割合	70%	62%	<p>【成果】 各高校で地域探究の授業が実施され、地域のことを知り、考える機会が増えてきている。また、地域おこし協力隊がサポートする高校生地域サークルを通じて、学校外での交流が増えていると感じている。</p> <p>【課題】 サードプレイスを持つ高校生は依然として少ない。</p> <p>【今後の対応】 地域おこし協力隊が手掛けているサードプレイスや地域とかかわるプロジェクト、若者事業などと連携し、高校生と地域とつながる機会を増やしていく。</p>	地域づくり課

具体的手段 01-03		移住・定住を検討する人に情報が提供されている					
KPI（重要業績評価指標）		2024.3月末					
		目標値	実績値				
移住組数（窓口相談等の利用者）		47組	58組				
No.	事業名	事業内容	KPI（重要業績評価指標）		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2024.3月末			
			目標値	実績値			
6	Uターン推進 （民間移住相談窓口の設置、空き家実態調査実証業務、婚活×移住イベント等）	<p>ワンストップ窓口を設置し移住希望者への「地域・住まい・仕事等」の情報提供やマッチングを行う。</p> <p>都市圏（東京・大阪）の移住イベントに出展し、豊岡の価値や魅力を伝え、来訪や移住に導く。</p> <p>移住相談と現地案内等の一部の業務を民間へ委託し、夜間及び休日での対応を行う。</p> <p>移住希望者や地域と関わりたい人と地域をつなぐWEBサービス「SMOUT（スマウト）」を利用し、移住者及び関係人口を増加させる。</p> <p>専用のアプリを用いた空き家調査を、エリアを限定して行い、調査データをデジタル化し、空き家情報の発信等に活用する。</p> <p>・ 地方で暮らしたい男性と、豊岡に住み続けたい女性のマッチングを目的とした婚活事業を実施し、共通の趣味を通じて出会う場を提供することで将来的な移住にもつなげる。</p>	・ 移住検討者の視察・訪問数	87回	52回	<p>【成果】</p> <p>単年度の視察の訪問者数は減少したが、2020年度から4年連続で移住者が100人を超えた。世代別で見ると20代の移住者が前年より増加している。</p> <p>【課題】</p> <p>移住相談件数が年々減少しており、地方移住の機運が低下している。</p> <p>【今後の対応】</p> <p>コロナ後における地方移住への動きを把握し、的確な支援を行う。</p>	地域づくり課
7	定住推進（移住者等への支援、学生向けシェアハウス整備補助、東京圏からの移住支援）	<p>移住検討段階から移住に至るまでの継続した支援により、移住検討者の意欲を向上させ、移住を促進する。</p> <p>市内の空き家を対象として、芸術文化観光専門職大学生等の学生向けシェアハウスを整備する事業者に経費の一部を補助する。</p> <p>東京圏からの移住者を支援する。</p>	・ 改修・引越し費用の補助金交付実績	17件	29件	<p>【成果】</p> <p>対象者を絞ったため、引越し費用に係る補助金利用者は減少した。空き家改修補助金の利用者は3年連続で増加しており、市内の空き家活用が進んでる。</p> <p>【課題】</p> <p>空き家に関しては、移住者からのニーズが高い賃貸用空き家が少なく、掘り起こしが必要である。</p> <p>【今後の対応】</p> <p>賃貸用空き家の物件数を増やしていく。</p>	地域づくり課

主要手段 02	多様なライフスタイル・働き方及び多彩な事業活動が実践されている
---------	---------------------------------

KPI（重要業績評価指標）	2024.3月末	
	目標値	実績値
豊岡に価値や魅力を感じる市民の割合	56.0%	43.2%

具体的手段 02-01	働きがいがあり、働きやすい場が増えている
-------------	----------------------

KPI（重要業績評価指標）	2024.3月末	
	目標値	実績値
IT企業誘致件数	1件	0件

No.	事業名	事業内容	KPI（重要業績評価指標）		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2024.3月末			
				目標値			実績値
8	IT企業誘致推進	オンラインによるマッチングイベントを活用し、IT企業を誘致する活動を展開する。ターゲット企業を絞った効果的な誘致活動を行うため、IT企業誘致支援業務を委託する。	・IT事業所開設補助金 新規交付決定者数	1人	0人	<p>【成果】 IT関連事業所開設を目的に補助制度の利用希望はあったが、制度要項を満たしておらず申請まで至らなかった。企業訪問については、年度中に取材請負者の変更があり新しい取材請負者の選定に日数を要し、実施件数が目標値に至らなかった。</p> <p>【課題】 オンラインマッチングで多くの企業と面談できる機会があるが、サテライトオフィス開設まで至っていない。（開設を決定するまでに複数年を要することがある）</p> <p>【今後の対応】 オンラインマッチングイベントは、サテライトオフィス開設を検討する多くの企業と面談できる機会であり、参加を継続する。また、過去にオンラインマッチングイベントで面談した企業に対しても面談をするなどして、本市への事業所開設を促す。</p>	環境経済課
9	スマート農業推進	設定した水位で自動的に止水する機能に特化した低コスト機器により、初期導入コストを抑えつつ、水田の見回り時間削減による省力化を図る。あわせて、2018、2019年度にコウノトリ育む農法（無農薬）省力化実証事業で使用した、水位及び水温をスマートフォン等で確認できる水田センサーを併用設置することにより、水管理の状況を可視化して栽培管理に反映することができ、収量及び品質向上に資する。	・実証圃場における一等米比率	85%以上	24%	<p>【成果】 自動水門+水田センサーを組み合わせた実証試験を行うことができた。</p> <p>【課題】 最終結果は、収穫までの様々な要因に左右されてしまう。なお、2023年度は異常気象による高温障害により品質（1等米比率）が著しく低下した。</p> <p>【今後の対応】 生産者部会等と情報共有を図り、当該試験で得られた成果を普及する。</p>	農林水産課

具体的手段 02-02		新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている					
KPI（重要業績評価指標）		2024.3月末		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署		
		目標値	実績値				
創業件数		22件	30件				
新規就農者数（青年等就農計画の認定者）		3人	4人				
No.	事業名	事業内容	KPI（重要業績評価指標）		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2024.3月末			
				目標値	実績値		
10	内発型産業育成（ビジネス相談窓口・創業支援、豊岡市継業バンクの運用等）	市内創業希望者や市内企業を対象にしたビジネス相談窓口「IPPO TOYOOKA」を運営する。 創業・事業承継に取り組む者のスタートアップに要する経費を支援する。 具体的な目標（営業利益や付加価値額など）を掲げ、成長を目指す市内事業者の新製品開発、販路拡大等に要する経費を支援する。 豊岡市継業バンクにより事業承継を推進する。 地域活性学会（豊岡大会）の開催及び運営支援を行う。	・ビジネス相談窓口の相談者数 ・ステップアップ事業創出数	30人 15件	80人 21件	【成果】 相談者80人のうち、男性は36人（45%）、女性は44人（55%）であった。また40歳以下は61人（76.3%）と、若者や女性が相談しやすい体制となっている。また、相談窓口を通じて19人の起業者が生まれている。 ステップアップ支援補助制度では、21事業の支援を実施し、市内事業者の成長を支援した。 【課題】 エネルギー価格や原材料価格の高騰など激しい経営環境変化への適応が求められている。 【今後の対応】 ビジネス相談窓口からの創業・起業が活発に生まれるよう、補助制度の充実と伴走支援を継続する。	環境経済課
11	政策アドバイザー設置	豊岡市の政策・施策を推進するため、ソーシャルビジネス、まちづくりにおけるデザイン等について、専門的立場から助言等を行う政策アドバイザーを設置する。	・新たな政策立案数 ・案件数	5件 20件	1件 9件	【成果】 件数としては目標値を下回ったが、内容的には、観光データ分析に基づくデータ活用や、2025年大阪・関西万博に向けた外国人観光客誘客施策への提言等において政策アドバイザーの効果的な活用を行うことができた。 【課題】 市役所内における多様な業務におけるアドバイザーの活用 【今後の対応】 引き続き、政策アドバイザーの活用による効果的な施策を実施する。	観光政策課
12	豊岡スマートコミュニティ推進機構	「疎」の非効率と弱点をテクノロジーでカバーし、人々が多様性を受け入れ、フラットにつながり支え合う「スマートコミュニティ」の実現を目指す。 地域の交通安全、持続可能な地域モビリティの構築、データ連携基盤等を活用した新たな市民サービスの導入を検討する。	・課題解決のための施策数	4件	4件	【成果】 市民向けアプリ「Toyooka iD0」のリリース、地元金融機関との連携を開始し、公共サービスの市民との共創に向けた「みんな×エール」などのイベント企画などを実施。 【課題】 新規事業の実施に係る体制構築、市民や民間事業者の巻き込み。 【今後の対応】 より多くの市民等に事業に関わって頂くため、今年度採用の地域おこし協力隊を配置し、市内の既存の取り組みとの情報交換や事業の連携を進める。	DX・行財政改革推進課

No.	事業名	事業内容	KPI（重要業績評価指標）		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2024.3月末			
				目標値			実績値
13	新規就農総合支援	市内で農業経営を行う認定新規就農者（18歳以上45歳未満）を対象に、経営開始直後の資金や、農業設備の導入経費を支援する。市外転入者（豊岡農業スクール研修生を含む）には家賃補助を行う。 市内で就農する際の経費負担を軽減することで、若者の移住及び農業への定着を推進する。	・青年等就農計画認定者	3人	4人	【成果】 農業スクール卒業生を中心に、新規就農者及び農業後継者の確保に繋がっている。 【課題】 市内農業の課題（広大な優良農地を使用する経営体の後継者確保）と就農支援施策の関連強化 【今後の対応】 集落営農組織等と連携した新規就農の促進策を検討する。	農林水産課
14	豊岡農業スクール	市内での就農を目指す者を対象に、希望する農業分野に応じて、市内の先進的な農業経営者のもとで生産や経営の技能を習得する研修制度を実施する。 水稲や大豆等、広大な農地を使用する土地利用型経営体（集落営農組織等）の後継者不足も顕著であるため、研修先並びに卒業後の就農先としてのマッチングを図る。	・農業スクール入校生人数	3人	4人	【成果】 生産や経営の技能をもつ農業人材の育成に繋がっている。研修後の市内就農者は29人（独立自営22人、雇用7人）。 【課題】 市内農業の課題（広大な優良農地を使用する経営体の後継者確保）と人材育成の関連強化 【今後の対応】 研修生の希望する農業分野を尊重しながら、集落営農組織等への研修生の派遣を促進する。	農林水産課
15	地域おこし協力隊の推進	総務省の「地域おこし協力隊」制度を活用し、新たな視点や発想により、地域の活性化や課題解決を図るとともに、隊員期間（最長3カ年）終了後の定着による移住者増加を目指す。	・隊員数（3/31現在）	45人	38人	【成果】 2023年度募集実績：募集人数13名、応募数39名、委嘱決定者数11名。2023年度卒業者（途中解嘱者含む）の定住率は72%（18/25人）。 【課題】 隊員数が多くなり、隊員間でも誰がどこで何をしているかわからない状況になっている。隊員同士がつながる場を提供することが求められている。 【今後の対応】 地域活動の質及び定住率を向上するため、隊員同士の交流会を実施し、隊員が孤立しないような体制を整える。	地域づくり課

具体的手段 02-03		豊岡の強みを活かして稼ぐ力が高まっている					
KPI（重要業績評価指標）		2024.3月末		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署		
		目標値	実績値				
鞆製造品出荷額		114億円	95億円				
鞆産業における「カバンアルチザンスクール生」及び「鞆縫製者トレーニングセンター受講者」の新規雇用者（正社員）数		8人	13人				
No.	事業名	事業内容	KPI（重要業績評価指標）		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2024.3月末			
			目標値	実績値			
16	豊岡鞆ブランドPR推進	「豊岡鞆」ブランドの価値を向上させる取組みを支援し、基盤産業である鞆産業の振興を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・豊岡市内鞆関係企業への1ターン就職者数（当該年度新卒以外就職者及び翌年度新卒内定者） ・財布・革小物製造に取り組む事業所 	8人	13人	<p>【成果】 豊岡鞆の認知度向上及び市外出身者の鞆業界への就職による労働力の確保につながった。</p> <p>【課題】 コロナ禍以降、百貨店での催事の機会が減少しており、今まで以上にオンライン上のPR強化が必要。各社がスクール生の就職活動のサポートを積極的に出来るよう後押しが必要。</p> <p>【今後の対応】 豊岡鞆のブランディング強化により魅力度を向上させ、鞆に関心のある若者を外部から呼び込み、業界の成長を促す。</p>	環境経済課

具体的手段 02-04		市民が多様な人々を受け入れている					
KPI（重要業績評価指標）		2024.3月末					
		目標値	実績値				
アーティスト・クリエイター移住者数		5人	1人				
No.	事業名	事業内容	KPI（重要業績評価指標）		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2024.3月末			
				目標値	実績値		
17	多文化共生推進	<p>子育て支援総合拠点で外国人市民相談会・交流事業及び研修会等を開催する。市役所窓口等にICTを活用した映像通訳、翻訳アプリを設置し、多言語による情報提供や相談対応を図る。</p> <p>新たに多言語相談員を配置し、転入者等に豊岡で生活するために必要な情報を提供するとともに、行政窓口での手続きのサポートや相談受付等を行う。</p> <p>日本語教室、受講者の生活相談等を実施する団体に補助を行う。</p>	・外国人市民の日本語教室への参加人数	200人	208人	<p>【成果】</p> <p>2022年度から実施した「多文化交流サロン」では、外国人市民と日本人が交流する機会となった。また、多文化共生のための研修会等を実施し、支援者等が外国人市民への理解を深めることができた。</p> <p>この1年間で外国人住民が約150人増加し、日本語教室への参加希望者が増えているが、2つの外国人支援団体に受け入れていただくことができた。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後も増加傾向にある外国人住民へのコミュニケーション支援・生活支援と、外国人市民も地域活動に参画できる取組みが必要 相談員・通訳者、日本語学習ボランティア等の人材の発掘と育成が必要 <p>【今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> 転入者対象の無料日本語教室の実施 多言語相談員の配置と外国人相談窓口の周知 外国にルーツを持つ子どもの支援及び日本語学習ボランティア等の養成及び研修 地域、雇用事業所等への働きかけ 	地域づくり課

主要手段 03	いきいきと暮らす女性が増えている		
KPI（重要業績評価指標）		2024.3月末	
		目標値	実績値
女性従業員の2/3以上が「働きやすく働きがいがある」と評価している事業所数		15事業所	18事業所

具体的手段 03-01	性別に関わらず地域での協働が進んでいる		
KPI（重要業績評価指標）		2024.3月末	
		目標値	実績値
ファミリーサポートセンター会員数		280人	380人

No.	事業名	事業内容	KPI（重要業績評価指標）		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2024.3月末			
				目標値			実績値
18	ジェンダーギャップ解消推進	「豊岡市ジェンダーギャップ解消戦略」に基づき、まち全体のジェンダーギャップの解消に向けた取組みを推進する。 市民向けの意識啓発・理解促進ツールを制作する。 ジェンダー平等をテーマにした豊岡市オリジナル絵本を制作し、市内の保育園、小学校等に配布し、保育・教育に活用する。	・男女格差の解消が進んでいると感じる市民の割合 【暮らしの中で男女格差を感じる市民の割合】 ・地域の意思決定・方針決定に参画する女性の割合 【地域コミュニティ組織における女性役員の割合】	全体80% 男性80% 女性80%	-	【成果】 意識啓発研修・ワークショップを実施し、教職員向けオンデマンド研修（対象者698人）、福田区27人、五荘小PTA257人（児童227人・保護者30人）、保育士・保育教諭28人、コミュニティ向けの33人。その他、モデル地区のフォローアップ意見交換を実施した。地域では、女性が意思決定・方針決定に参画する仕組みづくりや事業見直しに着手されたり、学校では、ジェンダーの視点で学校経営や児童への関わりなどについて考えていただくなど、個々の意識変容や行動変容につながっている。 女性の人材育成プログラム「豊岡みらいチャレンジ塾2023」を全5回のプログラムで実施し、23人が受講修了。修了生の中から、ゲストハウスや社会保険労務士事務所等の起業や会社で管理職にチャレンジされるなど、一歩踏み出す女性の後押しとなっている。 【課題】 固定的な性別役割分担を前提とした仕組みや慣習が地域社会に根強く残っている。無意識の偏見や固定観念に気づき、行動変容につながる取組みを対象ごとに、継続して行う必要がある。 ジェンダー視点の主流化に向けた庁内推進体制の整備や女性のエンパワーメントを含む人材育成も継続して行う必要がある。 【今後の対応】 ①戦略の進行管理とジェンダー視点の主流化の推進 ②市民の理解拡大と浸透に向けた研修・ワークショップの実施（地域コミュニティ、教員、幼稚園教諭・保育士など） ③女性の人材育成プログラム「豊岡みらいチャレンジ塾2024」開催 ④ジェンダー平等をテーマとしたオリジナル絵本の活用 ⑤地域向け意識啓発動画の作成	ジェンダーギャップ対策室【多様性推進・ジェンダーギャップ対策課】

No.	事業名	事業内容	KPI（重要業績評価指標）		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2024. 3月末			
				目標値			実績値
19	子育て広場管理	「子育て広場芝生化実行委員会」の協力により、5か所の子育て広場の除草等の維持管理を行う。 子どもが安心して遊べ、子育て中の世代とまちの人がいっしょに憩う広場として利用促進を図る。	・子育て広場芝生化実行委員会などにより適切に管理ができている広場の数	6カ所	6カ所	【成果】 地域における子どもの遊び場として利用されている。 【課題】 地域住民による継続的な広場の維持管理が必要となる。 【今後の対応】 今後も地域住民で組織されている広場の管理団体に対して、管理物品の提供や管理費の支援を行う。	こども未来課
20	ファミリーサポートセンター	会員同士の相互援助が円滑に図れるよう、専任アドバイザーを配置して、会員のマッチング、会員研修、交流事業等を行う。	・ファミリーサポートセンター会員数 ・送迎や預かりなどの支援サービスを利用している人の人数	280人 70人	380人 45人	【成果】 自主イベントの実施や他者イベントへの参加等により事業をPRし、会員数が増加している。 【課題】 「おねがい会員」に対して「まかせて会員」が十分とは言えず、調整が難しくなったり、まかせて会員の負担増加が懸念される。 【今後の対応】 引き続き、事業のPRを行い、会員数を確保することで安定的で継続した運営を図る。	こども未来課

具体的手段 03-02	性別に関わらず夫婦が家庭内で支えあっている
KPI（重要業績評価指標）	
2024. 3月末	
目標値	実績値
—	—

具体的手段 03-03		ありたい姿に向かっていきいきと働ける機会が増えている					
KPI（重要業績評価指標）		2024.3月末		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署		
子育て中の就労促進事業による就職内定者数		目標値	実績値				
		30人	—				
No.	事業名	事業内容	KPI（重要業績評価指標）		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2024.3月末			
			目標値	実績値			
21	ワークイノベーション推進	女性も働きやすく、働きがいを感じる事業所を増やすことを通じた職場のジェンダーギャップ解消と、これを切り口としたまち全体のジェンダーギャップの解消を目指し、経営者や従業員等の意識改革、行動改革を促す。	・女性従業員の2/3以上が働きやすく働きがいがあると評価している事業所数	15事業所	18事業所	<p>【成果】</p> <p>事業所対象のセミナーは、女性マネジメント層向けと若手従業員向けに計4回開催し、延べ56事業所、102人が参加。日本政策金融公庫との共催セミナーを1回開催し、56人が参加した。</p> <p>市内10事業所で従業員の働きやすさ、働きがい等に関する従業員意識調査を実施。484人が回答。</p> <p>働きやすく、働きがいのある職場へと変革を推進する市内事業所有志で構成する「豊岡市ワークイノベーション推進会議」の会員事業所が22事業所増加し、111事業所となった。</p> <p>推進会議で5年ぶりの総会、懇親会を開催し、67事業所81人が参加した。例会では、市内事業所の事例発表と意見交換会を実施し、27事業所34人が参加した。</p> <p>【課題】</p> <p>先進事業所を表彰するあんしんカンパニーの対象事業所を増やす。</p> <p>【今後の対応】</p> <p>女性マネジメント層向けと育児世代従業員向けセミナーを実施する。従業員の働きやすさ、働きがいにつながる優良事例の可視化、あんしんカンパニー制度の見直しを行う。</p>	ジェンダーギャップ対策室【多様性推進・ジェンダーギャップ対策課】
22	子育て中の女性の就労促進	働きたい女性を対象にデジタルマーケティング人材を育成するとともに、出口戦略（就職・起業支援）にも併せて取り組み、「デジタルスキル」を装着し、生き生きと働く女性のロールモデルを示す。 子育て支援総合拠点において、子育て中の働きたい女性の就労支援に取り組む。	・プシ勤務による市内の子育て中の女性と事業所のマッチング件数 ・市内の子育て中の女性を対象としたDX人材の育成数	0件 10件	0件 10件	<p>【成果】</p> <p>2023女性デジタルマーケティング人材の育成については、受講修了者10名の内、2名がデジタルスキルを生かして就職、1名が個人事業主で売り上げ増加に活用中、3名が起業済、4名が就業継続しながら起業等の準備中。</p> <p>【課題】</p> <p>従来からの課題はいかに受講途中での離脱を防止するかにあった。今年度は7月に定員いっぱいの10名でスタートし、5カ月後の講義終了時には10名全員が途中離脱なく修了した。事前の丁寧な相談・説明会の開催や選考面談などの実施、オンライン復習会やキャリア面談などの実施等により、ミスマッチなどによるドロップアウトを防ぐよう努めた。</p> <p>【今後の対応】</p> <p>地域内の女性デジタル人材育成の好循環を継続して取り組む。内閣府の女性デジタル人材育成プランの全国の好事例として紹介され、年間50件近い視察や問合せがあり、全国の自治体への横展開を効率的・効果的に進めていく。</p>	ジェンダーギャップ対策室【多様性推進・ジェンダーギャップ対策課】

主要手段 04	豊岡で人々が世界と出会っている		
---------	-----------------	--	--

KPI（重要業績評価指標）	2024. 3月末	
	目標値	実績値
移輸出額（兵庫県市町民経済計算統計）	231, 313百万円	公表前

具体的手段 04-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる		
-------------	-----------------------	--	--

KPI（重要業績評価指標）	2024. 3月末	
	目標値	実績値
観光消費額（インバウンド宿泊者）	2, 124百万円	2, 815百万円
豊岡演劇祭の市外からの来訪者数	4, 000人	970人

No.	事業名	事業内容	KPI（重要業績評価指標）		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2024. 3月末			
				目標値			実績値
23	城崎温泉街交通環境改善	城崎温泉街で観光客や地域住民が安心・安全にそぞろ歩きができるよう、城崎温泉独自の交通ルール「そぞろ歩きルール」の啓発活動を行う。 桃島バイパスを活用した交通迂回策の検討協議を行う。	・温泉街で自動車と歩行者が混在しており危険だと感じる人の割合	75%	80%	<p>【成果】 6月に地域住民、関係事業者と意見交換会を開催し、安全安心なそぞろ歩きの実現に向けた社会実験の実施について協議し、実験案の具体化を進めた。EST普及推進フォーラムにおいて、そぞろ歩きルールが脱炭素社会に向けた取り組みとして評価され、奨励賞を受賞した。</p> <p>【課題】 温泉街への車両流入抑制による利害関係者の合意形成。フリンジパーキングの整備、運営方法。</p> <p>【今後の対応】 2024年度は城崎温泉の将来ビジョンを整理の上、実現に向けた社会実験のあり方を検討すると共に、評価指標に関する事前調査を進める。2025年度は社会実験を行い、安全安心なそぞろ歩きの実現による効果や、交通体系への課題を検証する。その後は関係機関と連携しながら必要な施策を検討する。</p>	建設課

No.	事業名	事業内容	KPI（重要業績評価指標）		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署		
			指標設定	2024.3月末				
				目標値			実績値	
24	観光事業（国内誘客推進、観光施策評価データ収集等）	<p>国内外のテレビ、雑誌等の編集者などを招聘し、市の取組みや観光素材の取材を通して、メディア等への露出や旅行商品造成につなげる。</p> <p>観光に関する様々な客観的データを活用し、観光による地域への経済波及効果を高める。無料で利用できる公衆無線LANサービスに必要な通信設備、関連設備の運用等を行い、来訪者の満足度向上とより多くの“豊岡ファン”を創出する。</p> <p>大交流ビジョンの実現に向け、ウィズコロナ社会の新しい観光の形を見据えた「国内誘客促進強化のための情報発信戦略」に基づき、誘客促進を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 国内メディア掲載数 海外メディア掲載数 来訪者アンケート収集サンプル数（国内） 来訪者アンケート収集サンプル数（海外） 	85	54	<p>300</p> <p>2,100</p> <p>3,600</p> <p>4,005</p> <p>1,000</p> <p>1,188</p>	<p>【成果】</p> <p>国内メディア掲載数は減少したが、海外メディア向けの掲載数は昨年2022年度と同程度の掲載数となり、継続的な海外向け情報発信を実施することができた。コロナ後の観光客の回復とともに、アンケート収集サンプル数も増加の傾向にある。</p> <p>【課題】</p> <p>情報発信関連部署との効果的な連携</p> <p>【今後の対応】</p> <p>情報発信関連部署と連携して、積極的な国内メディア招聘等による効果的な観光情報発信を行う。</p> <p>豊岡観光イノベーションと連携して、引き続き、海外メディア招聘等による情報発信を行う。</p>	観光政策課
25	観光まちづくり推進（専門人材配置）	<p>民間企業で培った専門的な知識や経験、人脈を持った人材やマーケティングの専門家を配置し、「大交流ビジョン」の推進を図る。</p> <p>「大交流ビジョン」の推進体制の中心に位置づけた一般社団法人豊岡観光イノベーション（以下、TTI）のプロパー人材の配置を支援する。さらに、TTIの体制を強化するため、市からの派遣職員を増員する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 外国人観光客宿泊者数 	32,000人泊	61,187人泊	<p>【成果】</p> <p>民間企業の各人材の専門性により、事業推進への一助となった。</p> <p>【課題】</p> <p>マーケティングの観点から、観光に関するデータ分析や活用に専門的見地を有する人材をさらに希望する。</p> <p>【今後の対応】</p> <p>民間企業への継続的な派遣を要請するとともに、プロパー人材の安定的な育成を図っていく。</p>	観光政策課	
26	インバウンド誘客推進	<p>海外現地レップ（情報発信等代理店）、本市外国語版ホームページ等による情報発信を中心とした事業を実施する。</p> <p>対象市場において、豊岡市の認知度を向上するとともに、海外の人々に対して豊岡の魅力を的確に伝え、本市への誘客につなげる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> Google全体での検索回数（“Kinosaki”） ※英語・フランス語 	101,000回	175,000回	<p>【成果】</p> <p>外国人観光客向けWEBサイト「Visit Kinosaki」の継続的な運用と、サイトの随時改善、WEB広告の実施によって、コロナ前の時期を上回る勢いでユーザー数が増加している。</p> <p>【課題】</p> <p>多言語対応の内、英語、中国繁体字以外のフランス語等のWEBサイトの分析と改善を進める必要がある。</p> <p>【今後の対応】</p> <p>引き続き、WEBサイトの分析と改善を行いながら、効果的な外国人観光客の誘客に繋げる。</p>	観光政策課	

No.	事業名	事業内容	KPI（重要業績評価指標）		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2024.3月末			
				目標値			実績値
27	豊岡演劇祭協同開催	<p>豊岡演劇祭2023を市内文化施設等で上演し、豊岡市を国内外にアピールすることで「演劇のまち・豊岡」としてのブランドイメージを構築する。</p> <p>演劇祭をまちづくりの課題解決に向けたトライアルの場と位置づけ、演劇祭を通じた持続可能なまちづくりを図る。フリンジ型の演劇祭として5年でアジアNo.1、10年で世界有数の演劇祭を目指す。</p>	・豊岡演劇祭おける市外来場者数	4,000人	970人	<p>【成果】 SNSにおける情報発信を強化したことにより、より多くのユーザーに情報を届けることができた</p> <p>【課題】 来場者アンケートの回収率により、データにばらつきがある。</p> <p>【今後の対応】 アンケートの精度をあげ、回収率をアップする。SNSによる情報発信をさらに強化し、来場者増につなげる。</p>	観光政策課
28	文化観光推進	<p>国内でも稀に見るほど、多くの舞堂（歌舞伎舞台）が現存する但東地域において、舞台芸能を地域とともに再考し、新たな文化資源へと昇華させるため、地域の子どもたちとワークショップを通じた神楽作品の創作と公演を行う。</p> <p>「自然を見せる屋外ミュージアム」をコンセプトに新しくなった玄武洞公園で、幻想的なライトアップなどのイベントを定期的に行うことにより国の特別天然記念物玄武洞の魅力を発信し集客につなげる。</p>	・豊岡演劇祭延べ来場者数	6,295人	23,647人	<p>【成果】 都市部や開催エリアの地域イベントでのプロモーション活動を精力的に行い、目標値を大きく上回る過去最高の来場者であった。</p> <p>【課題】 一部の盛り上がりにとどまってしまうため、より大きな盛り上がりにつなげるため、協働の仕組みをさらに発展させる必要がある。</p> <p>【今後の対応】 引き続き、SNSによる情報発信をさらに強化し、来場者増につなげる。</p>	観光政策課

具体的手段 04-02		メイドイン豊岡が世界に広がっている					
KPI（重要業績評価指標）		2024.3月末					
		目標値	実績値				
コウノトリ育むお米輸出総量		60.0トン	17.3トン				
No.	事業名	事業内容	KPI（重要業績評価指標）		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2024.3月末			
			目標値	実績値			
29	コウノトリ育むお米ブランド化推進	海外の消費者にコウノトリ育む農法で栽培されたお米の特徴や価値を理解・共感いただくため、海外向け情報発信を展開する。	・コウノトリ育むお米輸出総量	60.0トン	17.3トン	<p>【成果】</p> <p>2023年度は、新たにイギリスへ定期輸出がスタートした一方で、ハワイへの定番輸出が停止した。</p> <p>【課題】</p> <p>輸出先を確保し続けるためには、輸出事業者等と連携したプロモーションが必要だが、経済効果の高い手法が確立できていない。</p> <p>【今後の対応】</p> <p>輸出事業者や各国のバイヤーに向けた情報発信を継続する。</p>	農林水産課

具体的手段 04-03		国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている					
KPI（重要業績評価指標）		2024.3月末					
		目標値	実績値				
アーティスト・イン・レジデンス滞在者数 *累計		1,820人	2,512人				
アーティスト・クリエイター移住者数		30人	1人				
No.	事業名	事業内容	KPI（重要業績評価指標）		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2024.3月末			
			目標値	実績値			
30	出石永楽館歌舞伎	文化都市豊岡のイメージアップを図るとともに、市外からの交流人口拡大による地域経済活性化に寄与する事業として、「第13回永楽館歌舞伎」を開催する。	・市民チケット販売数	1,200枚	835枚	<p>【成果】</p> <p>4年ぶりの開催であったが、チケットも完売し、盛況であった。各種メディアにも取り上げられ、市外からの参加もあり、交流人口の拡大に地域経済活性化につながった。（実績値が目標値に届かなかったのは、公演回数が4回減となったため。）</p> <p>【課題】</p> <p>チケット料金に見合った公演時間・役者・公演内容の提供</p> <p>【今後の対応】</p> <p>公演期間を延長し、チケット単価を上げ、財源を確保する。また、企業版ふるさと納税など財源確保に努める。</p>	出石振興局 地域振興課

No.	事業名	事業内容	KPI（重要業績評価指標）		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2024.3月末			
				目標値			実績値
31	芸術文化参与の設置	「最先端の芸術文化による若者の誘引」戦略アドバイザーとして、芸術文化参与を設置し、地方創生総合戦略の推進を図る。	・芸術文化施策の立案に参考とした助言の数	5件	9件	【成果】 文化芸術創造交流事業の取組みを協議する会議体「文化芸術創造交流事業協議」を、2022年度から、豊岡市の総合的な文化芸術施策の取組みを協議する「豊岡市文化芸術連携会議」へと移行。年間を通して4回会議を開催した。参与に出席いただき、助言等を得ることができた。 【課題】 特になし 【今後の対応】 引き続き、豊岡市の芸術文化政策について助言及び指導をいただく。	文化・スポーツ振興課
32	豊岡アートシーズン2023	文化施設や観光資源の特徴を活かし実施している演劇や音楽など多彩なジャンルのプログラムを「Toyooka Art Season 2023（豊岡アートシーズン2023）」として広報する。 市内の小学2年生全員を対象に子ども参加型演劇『サンタクロース会議』公演、6年生全員を対象に「出石永楽館狂言鑑賞教室」公演及び主に若年層・子育て世代を対象に、「豊岡アート縁日」を開催する。	・文化施設利用者数	340,000人	93,028人	【成果】 市内で開催される様々な文化事業を「Toyooka Art Season」として1つのパッケージとして一体的に情報発信を行った。主要事業12事業と参加事業73事業を実施。うち、14事業は民間団体が主催する事業を公募し応募して得たものだが前年比で1事業減となった。 【課題】 参加者や認知数の拡大。 【今後の対応】 より多くの方に参加いただけるよう、引き続き、各関係部署と連携しあい、豊岡市内の文化芸術事業の一体的な広報を行う。	文化・スポーツ振興課
33	子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭開催（豊岡アートシーズン2023参加）	第9回おんぶの祭典（子どもたちのためのコンサート、学校訪問コンサート、街角コンサート、稽古堂イブニングコンサート、グランドフェスティバル（キッズコンサート・ファイナルコンサート））を開催する。	・高校生以下の参加者数	2,000人	1,630人	【成果】 コロナ禍で減らしていた客席の数を戻し、子どもを対象にしたコンサートの会場数を増やしたことで、多くの子どもたちに生のクラシック演奏を楽しんでいただくことができた。 【課題】 祭典開催前のPRだけでなく、祭典期間中に各コンサートの様子をSNS等にアップし、その後のコンサートへの関心を高め、来場者を増やす検討が必要。 【今後の対応】 実行委員会を中心に、豊岡市や教育委員会と連携した事業運営を継続する。	文化・スポーツ振興課

No.	事業名	事業内容	KPI（重要業績評価指標）		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2024.3月末			
				目標値			実績値
34	城崎国際アートセンター事業（アートマネジメント等業務委託、豊岡アートシーズン2023参加等）	芸術文化の国際的戦略拠点として運営するとともに、芸術活動、地域との連携体制及び情報発信を強化するため、専門的な知識を有する人材を配置し運営体制の強化を図る。	・アートシーズン参加事業、ほか地域交流プログラム参加者数	1,300人	2,006人	<p>【成果】 渡航制限もなくなり、アーティスト・イン・レジデンスプログラムへの応募総数は2019年以降最多の79件。うち56%が海外からの応募。また、前年度の海外からの滞在者による口コミや、公募期間中SNSで日・英両言語での投稿回数を多く実施したことも海外からの応募が増加した要因と考えられる。 専門人材の活用により、年間60回以上の地域交流プログラムの開催を可能とし、地域住民が舞台芸術に触れる機会を多く設けたほか、稽古場公開・トーク・試演会・ふれあい居酒屋・コンサート・ワークショップなど様々な形式での地域交流プログラムの実施を可能とし、地域住民と舞台芸術の多様な接点を創出するとともに、地域団体との連携を図った。</p> <p>【課題】 地域交流プログラムの回数を多く開催することや、地域との連携を綿密に行うことにかかる専門人材の継続的な活用。</p> <p>【今後の対応】 豊岡市の現況に即した無理のない運営体制の検討を行っていく。</p>	文化・スポーツ振興課
35	アーティスト・イン・レジデンス	公募により選考された国内外からのアーティストが、滞在中に行った芸術文化創作活動を、豊岡・城崎の名と共に国内外で発表するとともに、豊岡・城崎の魅力を世界中に発信していく。 市民に優れた舞台芸術に触れる機会を提供する。	<p>・公募プログラムの応募件数</p> <p>・うち海外からの応募件数</p>	60件	79件	<p>【成果】 渡航制限もなくなり、アーティスト・イン・レジデンスプログラムへの応募総数は2019年以降最多の79件。うち56%が海外からの応募。また、前年度の海外からの滞在者による口コミや、公募期間中SNSで日・英両言語での投稿回数を多く実施したことも海外からの応募が増加した要因と考えられる。</p> <p>【課題】 コロナ禍を経て世界情勢の変化や、2021年度から新芸術監督体制への移行により、以前と比べて国内外問わず作品発表予定が未定の滞在制作や、新進気鋭のアーティストによる滞在制作が増加している傾向にあり、プログラムの多様性を担保できる公募の仕組みづくりが必要である。</p> <p>【今後の対応】 開館から10年を経てより豊岡市の現状に即した公募プログラムの仕組みづくりを検討する。</p>	文化・スポーツ振興課
36	専門職大学連携推進（移住等促進事業）	就労支援を通じて、芸術文化観光専門職大学の学生に卒業後も豊岡に住み続けてもらうためのきっかけづくりを行う。 アーティスト・クリエイターのオンラインによる移住説明会・相談会を開催する。	・アーティスト・クリエイターの移住者数	5人	1人	<p>【成果】 専門職大学生宛にアンケートを実施し、就労に対するニーズ調査を行った。</p> <p>【課題】 大学生のニーズの詳細な把握に基づいた支援内容の検討が必要</p> <p>【今後の対応】 専門職大学生の就労支援を通じて、卒業後の定住に繋がる取組みを実施する。</p>	観光政策課

具体的手段 04-04		世界の人々と対等に向き合える人材が増えている				
KPI（重要業績評価指標）		2024.3月末				
		目標値	実績値			
イングリッシュサマーキャンプ参加生徒数		57人	25人			
No.	事業名	事業内容	KPI（重要業績評価指標）		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署
			指標設定	2024.3月末		
			目標値	実績値		
37	専門職大学連携推進	芸術文化観光専門職大学内に設置されている「地域リサーチ&イノベーションセンター」と連携・協働し、地域課題を解決するための取組みを推進する。	課題解決にかかる事業件数 5件	7件	【成果】 地域リサーチ&イノベーションセンターと協同して、専門職大学教員等の専門的見地によって、地域課題解決の1つの機会となった。 【課題】 継続事業については、実績に基づく課題を抽出し、改善しながら進めていく必要がある。 【今後の対応】 大学と連携を密にして効果的な事業として取り組む。	観光政策課
(再掲)	英語教育推進	小学校1年生から外国語指導助手のネイティブな発音に触れる環境を整え、小学校から中学校にわたる9年間の系統性と連続性のある学習で、英語でふるさとのこと、自分のことを語ることのできる力を高める。 教員の研修会やイングリッシュ・サマーキャンプ（中学校3年生対象）等を実施する。	中学校卒業時の英語検定3級以上相当の英語力を有する生徒の割合 68%	55%	【成果】 全小・中学校において、豊岡市英語教育カリキュラムや学習指導要領に則り、日本人教員と外国語指導助手の連携により、英語遊び・外国語活動・英語科の授業を行った。 【課題】 小学校教員の英語指導力の向上。小・中学校の連携強化。 【今後の対応】 授業力（教員の英語指導力）の向上。小中連携した研修や各中学校区内で教員相互の授業参観や情報交換等の継続・発展。ICTの効果的な活用。英語に関するイベントへの呼びかけ。授業以外で英語を活用する場面の設定。	学校教育課

主要手段 05	子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている
---------	-----------------------

KPI（重要業績評価指標）	2024.3月末	
	目標値	実績値
	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある児童・生徒の割合	小学生 67.9%
	中学生 43.5%	中学生 77.8%

具体的手段 05-01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている
-------------	---------------------

KPI（重要業績評価指標）	2024.3月末	
	目標値	実績値
	ふるさとのひとやものに関わる活動を通して、ふるさとや自分のことで、何か新たに発見したり、考えたりしたことがあった児童・生徒の割合地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある児童・生徒の割合	小学生 87.7%
	中学生 85.0%	中学生 81.8%

No.	事業名	事業内容	KPI（重要業績評価指標）		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定				
			2024.3月末				
			目標値	実績値			
38	ふるさと教育推進	「コウノトリ」「ジオパーク」「産業・文化」を共通の学習テーマに位置付け、豊岡の「ひと・もの・こと」に学び、ふるさと豊岡を自分の言葉で語り誇れる力を育成する。	・今住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合	小学生 96.9%	小学生 89.6%	【成果】 仲間との協働を意識した学びの充実。地域の「ひと・もの・こと」に学ぶ体験活動の充実。 【課題】 子どもたちが、ふるさと学習での学びを自分の在り方や生き方につなげて考えるところまで高めていくこと。 【今後の対応】 実践の共有と研修会への積極的な参加の促進。教科教育との更なる連携の充実。地域を学習材とした探究的な学びの工夫。	学校教育課
39	おっとりっしゃ！とよおかのものづくり	市内のものづくり企業の認知度向上を目的に、豊岡市工業会が開催する企業展示等ものづくり体験教室の支援を行う。	・「おっとりっしゃ！とよおかのものづくり」への来場者数 ・ものづくり体験教室参加者数	550人 440人	480人 353人	【成果】 多くの来場者があり、直接、ものづくり企業の社員と触れ合いながら事業を行うことで、子どもたちや市民の方々のものづくり企業の認知度が高まった。 【課題】 新規来場者およびリピーター獲得のため、魅力の発信や参加企業の体験内容の多様化 【今後の対応】 現在、企画段階から会員企業の若手社員が参加して様々なアイデアを実行するとともに、当日のスタッフとしても参加中。継続して実施し、子供たちが豊岡のものづくりへの理解を深める契機とする。	環境経済課 (豊岡市工業会)

具体的手段 05-02	子どもたちが様々なコミュニティの中で役割を果たしている
-------------	-----------------------------

具体的手段 05-03	子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる
-------------	-----------------------------

KPI（重要業績評価指標）	2024.3月末	
	目標値	実績値
話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができると思う児童・生徒の割合	小学生 87.6%	小学生 87.1%
	中学生 82.8%	中学生 87.4%
中学校卒業時の英検3級以上相当の英語力を有する生徒の割合	68%	55%

No.	事業名	事業内容	KPI（重要業績評価指標）		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2024.3月末			
				目標値	実績値		
40	コミュニケーション教育推進	すべての小学校6年、中学1年において、担任による演劇的手法を取り入れた授業を学期に1回ずつ年間7時間実施し、コミュニケーション能力の向上を図る。	・話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができると思う児童・生徒の割合	小学生 87.6%	小学生 87.1%	【成果】 小学校で他者を理解し自分と異なる考えを受け入れようとする取組を礎に、中学校で更に自分の考えを深め広げる活動の充実。 【課題】 小学校と中学校のつながりをさらに意識した取組の工夫。通常の教科学習や特別活動などにおいて、めざすコミュニケーション能力の視点を取り入れて、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善。 【今後の対応】 コミュニケーション授業を授業参観等で公開するなど、保護者・地域に向けた積極的な情報共有。全ての教育活動で、コミュニケーション能力を育成する4つの視点と自校のカリキュラムとを関連付けた実践。	学校教育課

No.	事業名	事業内容	KPI（重要業績評価指標）		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2024.3月末			
				目標値			実績値
41	英語教育推進	<p>小学校1年生から外国語指導助手のネイティブな発音に触れる環境を整え、小学校から中学校にわたる9年間の系統性と連続性のある学習で、英語でふるさとのこと、自分のことを語ることのできる力を高める。</p> <p>教員の研修会やイングリッシュ・サマーキャンプ（中学校3年生対象）等を実施する。</p>	<p>・中学校卒業時の英語検定3級以上相当の英語力を有する生徒の割合</p>	68%	55%	<p>【成果】 全小・中学校において、豊岡市英語教育カリキュラムや学習指導要領に則り、日本人教員と外国語指導助手の連携により、英語遊び・外国語活動・英語科の授業を行った。</p> <p>【課題】 小学校教員の英語指導力の向上。小・中学校の連携強化。</p> <p>【今後の対応】 授業力（教員の英語指導力）の向上。小中連携した研修や各中学校区内で教員相互の授業参観や情報交換等の継続・発展。ICTの効果的な活用。英語に関するイベントへの呼びかけ。授業以外で英語を活用する場面の設定。</p>	学校教育課
42	非認知能力向上対策	<p>市内の小学校1年生すべてと2年生のモデル校（6学級）を対象に、平田オリザ氏監修、わたなべなおこ氏作成のプログラムにより、演劇ワークショップを実施するとともに、効果測定を行う。</p>	<p>・アンケート調査は実施するが、KPIの目標値としては適さない</p>	—	—	<p>【成果】 市内全小学校1年生（3回）と市内の希望校8小学校の2年生（2回）で演劇ワークショップを実施した。青山学院大学による効果測定分析結果によると、ワークショップの事前/事後で3つの調査項目「やり抜く力（自己効力感）」「自制心」「協働性」について、プラスの変化があり、演劇ワークショップの実施が非認知能力の向上につながる事が分かった。</p> <p>【課題】 演劇ワークショップの取組を教科教育や学校行事等の教育活動にどう生かしていくのが課題である。</p> <p>【今後の対応】 市内全小学校1年生で演劇ワークショップを年3回実施することに加えて、市内全小学校2年生で年2回実施する。また、子どもへのかかわりやプログラムのねらいを担任と共有し、教育活動に反映させていく。</p>	学校教育課
43	英語遊び保育推進	<p>就学前（4、5歳児）の子どもたちを対象に、歌やゲーム、絵本の読み聞かせなどをすべて英語で行う英語遊び指導員を巡回派遣する。</p>	<p>・「英語遊びは楽しい」と思っている園児の割合</p>	96.5%	95.1%	<p>【成果】 2017年度から全市的に継続的に展開しており、保育現場にも浸透してきた。2023年度も安定的に展開できている。</p> <p>子どもたちは、巡回訪問時の英語遊びだけでなく、園内外の日常において、英語を言ってみたり、英語の歌を口ずさんだりする場面が見られるようになってきている。</p> <p>【課題】 ・指導員による指導内容の質の維持・向上 ・小学校の英語教育との確かな接続と情報共有</p> <p>【今後の対応】 今後も指導員体制4名を継続し、綿密な情報交換、研修実施、意識共有を行い、指導員の質向上を図る。 また、小学校との連続性を見据えた事業展開を図る。</p>	幼児育成課

主要手段 06		結婚したいと思う人が結婚できている				
		KPI（重要業績評価指標）		2024.3月末		
				目標値	実績値	
婚姻数				286組	223組	
具体的手段 06-01		若者が集い、交流する場が増えている				
		KPI（重要業績評価指標）		2024.3月末		
				目標値	実績値	
婚活イベントによる成婚数				1組	1組	
No.	事業名	事業内容	KPI（重要業績評価指標）		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署
			指標設定	2024.3月末 目標値 実績値		
44	若者独身者交流	「婚活事業」は敷居が高いと感じて参加しない層をターゲットに、カップリングを行わない交流の場を設ける。	・若者参加者数 (延べ人数)	240人 137人	【成果】 新たな若者の出会いの機会が増えた。 【課題】 カップリングを求める若者が多く、カップリングを行わない本事業への参加者が少ない。 【今後の対応】 2023年度で事業終了し、新たに若者事業として統合する。	地域づくり課

具体的手段 06-02		多種多様な出会いの機会が充実している					
KPI（重要業績評価指標）				2024.3月末			
				目標値	実績値		
出会い機会創出事業実施による成婚数				11組	8組		
No.	事業名	事業内容	KPI（重要業績評価指標）		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2024.3月末			
			目標値	実績値			
45	ボランティア仲人養成 （WEDDINGプロデュース大作戦）	ファッションや美容のプロの手により素敵に変身した姿での食事会の機会を創出し、成婚数を増加させる。	・成婚数 ・お見合い数	3組 50件	0組 —	【成果】 成婚数の目標を達成することはできなかったが、市の結婚支援施策を周知し、若者登録者を増やす機会となった。 ※2022年度まではお見合い形式だったが、2023年度はイベント形式としたため、お見合い実施無し。 【課題】 イベントとしての目新しさが薄れてきている。 【今後の対応】 引き続き、若者の意向やファッション専門家の意見を取入れ、事業内容を改善する。	地域づくり課
46	出会い機会創出（はーとピー）	婚活応援プロジェクト「はーとピー」（婚活イベント）を実施し、結婚を支援する。 専任の結婚支援員を置き、希望者には細やかなアフターフォローを行う。	・成婚数 ・カップル数	8組 60組	8組 35組	【成果】 事業を継続的に実施することで、成婚数の目標は達成することができた。一方で、参加者数・カップル数は減少した。 【課題】 事業を継続していくためには、新規の参加者を増加させる必要がある。 【今後の対応】 若者や専門家の意見を取り入れ、より魅力ある事業内容にしていくとともに、LINE等を導入し情報発信や参加申し込み方法を工夫する。	地域づくり課

具体的手段 06-03		交際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援体制が充実している					
KPI（重要業績評価指標）		2024.3月末					
		目標値	実績値				
ボランティア仲人による成婚数		5組	9組				
結婚相談所による成婚数		9組	1組				
No.	事業名	事業内容	KPI（重要業績評価指標）		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2024.3月末			
			目標値	実績値			
47	ボランティア仲人養成（縁結びさん）	ボランティア仲人「縁むすびさん」を養成し、活動を支援する。 「縁むすびさん」が結婚相談所や婚活イベント等に行かない独身者層のご縁を取り持ち、結婚を支援する。	・成婚数（「ウェディングプロデュース大作戦」による出会いを除く） ・お見合い件数（「ウェディングプロデュース大作戦」によるお見合いを除く）	5組 140件	8組 231件	【成果】 目標を上回る成婚数を達成することができた。 【課題】 お見合い件数について、目標値は達成しているものの前年より減少している。若者登録者の増加とボランティア仲人の資質向上、また、ボランティア仲人が積極的に活動できる環境の整備が必要である。 【今後の対応】 引き続き、ボランティア仲人に対する研修を実施するとともに、事務局との連携・情報共有や若者との相談体制の整備を図るため、相談室の設置などを検討する。	地域づくり課
48	結婚相談所機能拡充	社会福祉協議会の結婚相談所ボランティア相談員の成婚報奨金を補助する。 担当職員、相談員の資質向上のため、研修費を補助する。	・成婚数 ・お見合い数	9組 222件	1組 116件	【成果】 2022年度から相談日を土曜日に設定するなど、若者が気軽に相談できる環境づくりに努めてきたが、新規登録者数が伸びず、成婚数も減少している。 【課題】 新規若者登録者数が増加しない。 【今後の対応】 2023年度で補助事業は終了。 ※社協の事業は継続	地域づくり課
49	結婚・女性活躍促進調査	結婚の支援、女性の活躍（子育て応援）を推進するため、研修、視察等を行い、より効果的な事業の推進を図る。	・「ハートリーフ協議会」開催回数	—	—	【成果】 2019年度をもって協議会を廃止している。 はーとピー実行委員会や若者交流事業等のイベント参加者から意見を聞くことで情報が収集できている。 【課題】 特になし 【今後の対応】 協議会の設置は考えていない。	地域づくり課